

第23回定期大会を開催！

7月9日、地本は、「吹田市立勤労者会館」において第23回定期大会を開催しました。大会は、議長に坂東代議員（修繕分会）、大谷川代議員（乗務員分科会）を選出し議事が進められました。

地本執行委員会を代表して、小林委員長から「①ボーナスカットゼロを実現させた。成果を更なる闘いに広げて行こう。②泣き寝入りせざるを得ない全ての労働者のために休日指定予定日の公表廃止と年休失効に対する闘いを強化していこう。③出向先、関連会社の労働条件改善の闘いを強化していこう。④新幹線車内業務見直しによる要員削減反対の闘いを強化していこう。⑤強権的な職場支配体制づくりを跳ね返し、戦争のできる国づくりを進めている安倍政権の暴走をストップさせよう。⑥国鉄改革、JR発足から30年！組織拡大の実現、地域で共に闘う仲間の拡大に向けて更に奮闘していこう。」と挨拶がありました。

また、来賓として、摂津平和人権センター落合議長、東大阪市会議員の鳴戸市議会議員、大阪労働者弁護団定岡弁護士、JR西労関西地域本部、JR貨物労組関西地本、JR東海労本部、JR東海労新幹線地本、JR東海労静岡地本、地本OB会から連帯の挨拶を頂きました。

質疑では、18名全員の代議員から発言があり、「憲法改悪に向けた安倍政権の暴走を許さない闘い。労働者・市民・近畿地協の仲間との連帯の強化」「恣意的なボーナスカット『0』の成果、更なる闘いの拡大」「休日指定予定日公表廃止、年休失効に対する闘い」「新幹線車内業務見直し反対の闘い」「職場諸要求の獲得、効率化反対、検査周期延伸に対する闘い」「鳥飼基地における通勤用自動車等変更反対の闘い」「団体交渉を含めた出向先の労働条件の改善の闘い」「今後の組織体制について」など昨年の闘いの成果と教訓が報告され、その後、各部答



弁、畑野書記長の総括答弁を行い、スローガン「我々の目的を実現するために、共に闘い抜いた30年の成果を確認し、職場と地域から更に奮闘しよう！」を満場一致で採択しました。最後に組織強化・拡大のために更に奮闘していくことを確認して団結ガンバローで終了しました。